

会 報 わ か く さ の 風 No.4

社 会 福 祉 法 人 戸 田 わ か く さ 会

〒335-0021 埼玉県戸田市新曽1522-1 わかくさ内

Tel 048-432-8198 Fax 048-432-8298 <http://www.wakakusa-kai.com/>

10周年記念式典の様子



明日を拓く法人を目指して頑張ります

明けましておめでとうござい
す。昨年は法人化10周年を記念し
て、式典、講演会、表現展として
実行委員会方式で開催した「ぼく
らのありがとうコンサートinとだ」
のいづれも盛大に開催することが
できました。心からお礼申し上げ
ます。10年を経過して、これから
が法人の真価が問われます。

27年度は戸田市の第4期障がい
福祉計画（平成27年度～29年度）
がスタートする年であります。ま
た、社会福祉法人改革により、法
人の社会貢献活動も要請されてい
ます。法人の社会的役割があらた
めて問われる時代を迎えます。

社会保障、社会福祉の在り方が
大きく変化する中で、私たちは時
代の変化に翻弄されることなく、
障害のある人たちの社会環境的不
利をひとつずつ克服していかなく
ればならないと考えております。

昨年のコンサートは私たちに多

くのことを示唆してくれました。
彼らは私たちが理解していなかつ
た豊かな内面的な力を持っていま
した。さらに多くの市民が彼らを
支え、深い共感を持って評価して
いただきました。市民、音楽家・
音楽団体の皆様との「協働」の結
果であります。市民がお互いに
「支える支えられる」という関係
を発展させたいと思いました。

私たちはこの教訓を法人の理念
である①ノーマライゼーションの
実現②一人ひとりが豊かに暮らせ
る地域社会の実現に向けて、新た
に一步一步努力していきます。引
き続きご指導、ご協力を賜ります
よう心からお願します。

皆様方にとって健康に恵まれた
幸多い年でありますようご祈念申
し上げます。

戸田わかくさ会

理事長

横山 ユタカ

統括施設長

竹嶋 紘



更なる活動の深化の節目として 法人設立10周年記念式典開催

11月15日(土)午前9時30分より、戸田市文化会館301会議室において、約80名のご参加により記念式典を開催いたしました。

式典では、横山理事長のあいさつに続き竹嶋統括施設長がスライドを使用して10年間の歩みを振り返りました。

JR高架下の建物の懐かしい光景や幼さの残る姿から現在の真剣に働く大人へ変化していく10年間の重みが感じられました。

当日のご来賓を代表して戸田市長 神保国男様、市議会議長 山崎雅俊様、戸田市社会福祉協議会会長 永井武雄様より、この間の法人や障害者を取り巻く歴史や制度に触れつつ、今後の期



待を含め、心温まるご祝辞をいただきました。

上田清司埼玉県知事の祝電披露の後、長きに渡りご支援・ご協力いただいた皆様へと移り、平成

2年より町会行事等での交流やわかきさ移転の際には激励もしていただいた地元芦原町会相談役高橋様と法人事業所で活動するボランティア4



人の皆さんへお渡しいたしました。皆様への感謝とお礼は、法人事業所の利用者全員からの予定でしたが、「僕らのありがとうコンサートinとだ」の直前リハーサルにより代表参加3名と事業所全利用者からのビデオレター形式に変更となりました。気持ちはいまよく伝えられたでしょうか。

戸田わかきさ会後援会の齊藤会長のあいさつで閉会となりましたが、法人の大切に行っている「障害者の働くこと、暮らすこと」の一端をお伝えできたのではないでしょう。同時に皆様からの「更なる法人への期待」を感じる式典でした。ご期待に応えられるよう活動を深化させていく所存です。引

き続きのご指導・ご鞭撻よろしくお願ひいたします。

(草柳)

十周年記念講演会

「一人ひとりが豊かにくらすために
障害者の自立と地域づくり」

10周年の節目となる記念講演会に、全国で引つ張りだこの愛知淑徳大学福祉貢献学部の谷口教授にご講演いただきました。京都在住で関西人の先生のお話は、必ずオチがあり、まるで漫談を聴いているような面白さの中、ご自身が脳性まひで支援区分6という谷口先生が語る「障害者の幸せ」は、「寝て食べて出すことではない!」「好きな人ができたら結婚したいでしょ」と実に明快です。「障害を持つ人の幸せの基準をもっと高く!」という先生の言葉に、支援者としての思いを新たにしたいという参加者の感想もありました。



先生のお話は、職員研修用として録画させていただきました。勇氣と元氣をもらえる、でも宿題も突きつけられるような先生のお話を、今後、家族会等でも見る機会を設けていきたいと思います。

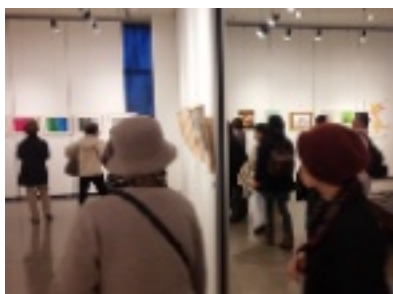
(浜田)

大盛況! 感じる表現展

11月14日〜16日の3日間、戸田市文化会館で開催された「感じる表現展」。戸田わかきさ会の3事業所に加えて戸田市・春日部市・吉川市・嵐山町の7事業所にも出展のご協力を頂き、82点の作品を展示、おかげさまで約500人の方にご来場頂きました!

この絆を更に広げていきたいと考え、今後とも戸田わかきさ会の「表現活動」を応援よろしくお願ひいたします!

(清水)





第二部大合唱の様子。100名以上がステージに立ちました。

やったぞ！ぼくらにもできたよ！コンサート！
700名の大盛況！！

■ 去る平成26年11月15日

「ぼくらのありがとうコンサート in とだ」が昨年11月15日に戸田文化会館ホールにおいて開催されました。当日は、秋晴れで、この演奏会のために700名を越す人たちが会場に詰めかけてくれました。これは快挙です。こんなに多くの方の前で自分たちが舞台上から発表できるなんて、誰が想像したでしょう。リハーサルは10時過ぎに始まりました。果たして、舞台上に全員が乗れるのか、音響はうまくいくのか、照明は期待通りいくのか。リハーサルでは最後の最後まで、予断を許さない状況でした。当日になってみないとわからない。



■ 障害のある方が中心

今回の演奏会では、とにかく事業所の利用者を真ん中に据えその他の人たちはすべて脇役に徹しました。多くのイベント等では、協力団体は自身の発表も含めてという参加の仕方が普通ですが、今回はあくまでも主人公は障害を持つている人であるということが決定的な違いです。一部は事業所やサークルの発表ですが、リハーサルではまだ、立ち位置や動きがぎこちなく、果たしてこれで行けるのかと不安がよぎりました。しかし、そんな心配とは裏腹に、本番は大成。みんな、自信をもって堂々と歌いダンスを踊りました。二部の大合唱では、休憩のあと綴帳が上がると、客席から「わあ！」という声が聞かれました。文化会館での舞台上の出演者全員の姿は本当に壮観といってもよいでしょう。ナ

■ 音楽の力

音楽の持つ力は本当に大ですね。歌のうまいへたを通り越して、人に何かを与える力はすごいものです。決して皆うまくは歌っていないけれど、そのパワーは確実に伝わりました。まさに、事業所の利用者がこんなにもできるなんて誰が想像したでしょう。期待以上に、力を発揮し、やればできるということを自ら証明してくれました。今回、初めて実行委員会形式でコンサートを実施し、聴衆の心に残るアピールができたことを確信しています。今後、またこういう機会があるなら、さらに他の事業所の方たちと手を携えてやってみたいものです。

(実行委員会 鈴木利夫)

レーションから始まり、ソロの歌も素敵でした。じっと見つめる客席の人たちから感動して涙を流す人たちも大勢いたと聞いています。また、協力団体からは参加してよかったとの感想をいただいています。

コンサート
DVD販売

1枚2,500円
にて販売中！

【問合せ先】

かがやき 鈴木

電話..

048・471・9331



各事業所の取り組み

わかくさ

『ありのままの姿みせました』

わかくさは、アナと雪の女王の「レットイットゴー」で、リハビリ体操を披露しました。このリハビリ体操は、わかくさの利用者の機能維持向上支援をして下さっている理学療法士の方と発表のために作ったオリジナルの体操です。毎日練習を重ねるうちに、どんどん上達していききました。当日は緊張でずっと座ってられない人や、慣れない場所で舞台上に上がれなかつた人もいましたが、気持ちの一つに、わかくさの「ありのままの姿」を見せることが出来たのではないかと思います。

に上がった人も、気持ち一つに、わかくさの「ありのままの姿」を見せることが出来たのではないかと思います。

うか。

コンサートが終わり、利用者の皆さんと振り返って感想を聞くと「楽しかった。」「歌が良かった。」「(当日) バタバタして大変だったけど、本番は成功して良かった。」という言葉が聞きました。

今回参加出来なかった方も練習など、とてもよく頑張っていました。また、ご家族をはじめ協力していたいただいた皆様、本当にありがとうございました (林)

コンサートが終わり、利用者の皆さんと振り返って感想を聞くと「楽しかった。」「歌が良かった。」「(当日) バタバタして大変だったけど、本番は成功して良かった。」という言葉が聞きました。

ゆうゆう

『みなで輪(WA)になれたひと時』

コンサート「ゆうゆう」の演目「WAになつておどろろ」が終わり、緊張した表情からみんな笑顔に。そして、控室では「やった!! 大成功!!」の声が上がりました。これまで、ゆうゆうでの練習はもちろん、障害者福祉会館の体育館を借りて特訓もしました。また、コンサート「ゆうゆう」の練習だけでなく、日頃から一泊旅行やクラブ活動など「集団」で行動する取り組みを積み重ね一人ひとりの力を結集しました。その成果が本番で発揮され、二部の合唱も含め、「ひとつの輪」になれたのだと思います。



「大きな会場といっぱいのお客様で緊張したけど楽しかった」と話してくれた利用者さん。また、「一生懸命がんばる姿に元気をもらった」とご家族の方や、地域の方にお話をいただきました。たくさんの方から頂いた声援と埋め尽くされた会場でのこの貴重な経験は、利用者、職員共に今後の自信につながっていくと思います。(堤)

「大きな会場といっぱいのお客様で緊張したけど楽しかった」と話してくれた利用者さん。また、「一生懸命がんばる姿に元気をもらった」とご家族の方や、地域の方にお話をいただきました。たくさんの方から頂いた声援と埋め尽くされた会場でのこの貴重な経験は、利用者、職員共に今後の自信につながっていくと思います。(堤)

かがやき

『コンサート終えて』

ありがとうコンサートが終わり、実行委員に感想を聞きました。「毎日ある練習は体力を使い、疲れが出て辛い時もありました。でも本番はたくさんの方が観に来て



くださり緊張しました。練習は大変だったけど、本番成功して嬉しかったです。(安藤)「コンサート」の会議に出席したり、ステージで歌ったり貴重な体験をしました。本番は踊りも揃える事が出来てよかったです。楽しいありがとうコンサートになったと思います。(高橋)「職員と利用者が一丸となりコンサートに取り組むことができました。練習の為に休み時間を練習に当てたり、作業後に残って練習をしたりと毎日の練習は大変であったと思います。リハールでは、緊張から動きが揃いませんでした。が、本番は利用者の練習の成果を発揮できた素晴らしいステージになりました。(荻野)

貴重な体験をしました。本番は踊りも揃える事が出来てよかったです。楽しいありがとうコンサートになったと思います。(高橋)「職員と利用者が一丸となりコンサートに取り組むことができました。練習の為に休み時間を練習に当てたり、作業後に残って練習をしたりと毎日の練習は大変であったと思います。リハールでは、緊張から動きが揃いませんでした。が、本番は利用者の練習の成果を発揮できた素晴らしいステージになりました。(荻野)

貴重な体験をしました。本番は踊りも揃える事が出来てよかったです。楽しいありがとうコンサートになったと思います。(高橋)「職員と利用者が一丸となりコンサートに取り組むことができました。練習の為に休み時間を練習に当てたり、作業後に残って練習をしたりと毎日の練習は大変であったと思います。リハールでは、緊張から動きが揃いませんでした。が、本番は利用者の練習の成果を発揮できた素晴らしいステージになりました。(荻野)



わかくさ会 各事業所

新年の抱負



新しい私。ぼくらは働けるのさ！
自分のことは自分でしたい！

わかくさ

新年明けましておめでとうござ
います。昨年はわかくさの事業運
営にご協力頂き、ありがとうございます
でした。皆様のご協力で利用者
が意欲的に活動に取り組めたと思
います。本年もよろしくお願い致
します。

わかくさでは、昨年末に「20
15年、どんな年にしたいか」と
利用者に聞いてみました。なか
か自分の意思を相手に伝えること
が難しい利用者のみなさん。今回
の質問でも職員から「仕事頑張り
ますか?」「お給料たくさん貰い

たいですか?」など、つい答えを
誘導してしまいがちでした。そ
んな中、必死に作業用の洗濯物を
干す利用者や自分のカバンを用意
し、帰りの準備を始める利用者を
発見……。その2人は4月に入
所した利用者です。あつという間
に自分のことは自分で出来るよう
になつていたのですね。ハッキリ
とした言葉はないけれど、その行
動で「ぼくたち、ちゃんと出来る
んだよ。」と教えてくれていまし
た。

仕事も身の回りのことも自分た
ちでやっていきたいという利用者
の気持ちを大切に2015年は、
職員も利用者をつかり見守りな
がら、一緒に活動を共にしてい
きたいと思えます。その中で困つた
り、立ち止まった時は一緒に悩み
答えを探していきましょう。

さあ、新年も『ぼくらは働ける
のさ!』の掛け声で一步を踏み出
します。
(塩谷)



作業用の洗濯物を干すSさん。

みんなで仕事を頑張ろう!!
福祉作業所ゆうゆう

昨年12月の自治会で、26年の振
り返りと新年の目標を利用者み
んで話し合いました。

「平成26年で頑張ったことや楽
しかったことありませんか?」と
の問いかけに、「……」。「な
かなか手が上がりません。しかし、
「新年に頑張りたいことあります
か?」の質問には、たくさんの方
手や自主的にホワイトボードに書
き込むなど積極的な様子がみられ
ました。

「どらやきの販売や納品にもつと
行きたい」「挨拶を頑張りたい」
など、仕事への抱負が多かったの
ですが、中には「ゆうゆうのルー
ルを守りたい」といった生活面
の目標を掲げた仲間もいました。
また、「一泊旅行に行きたい」と、
ゆうゆうをもっと楽しみたいとい
う声も多く聞きました。

昨年は、どらやきの売上が増え
月80万円を超えるなど、昨年度
を上回るペースでした。そのため
忙しいけれど、利用者一人ひと
りが協力し合い、「みんなで仕事を
頑張ろう!」という気持ちが大

くなりました。新年の目標に仕事
のことが多かったのもそのためか
もしれません。今年の9月で和菓
子販売を始めて10年目に突入しま
す。今年はどらやきと共に看板商
品となるような新商品の開発など、
みんなで歩みを進めていきたいと
思います。
(土岐)



自治会の様子。
みんな真面目に参加しています!

きちんと清掃!
目指せ就職!
福祉作業所かがやき

川口保健所の清掃業務で働いて
いる方たちと、昨年の振り返りと
今年のこについて話し合っても
りました。

Sさん 「今年は頑張った…かな」
Iさん 「自分も頑張った…と思う」
職員 「2人とも自信なさげですね(笑)」

Sさん 「だから来年はもっとがんばる。もっと上手になつて褒められるような仕事がしたい」



保健所清掃の様子。
ダストモップで隅々まできれいに拭きます。

Iさん 「来年はそうじがもつときれいに出来るようになって、給料もたくさんもらいたい」
職員 「来年は、仕事を頑張っている！と自信を持って言えるといいですね」

Iさん 「そうですね。もちろん12月も頑張ります」

職員 「来年の目標はありますか？」
Sさん 「ちよつと間が空いて掃除が出来るようになって、就職できるように頑張る」

Iさん 「もつと仕事が良く出来る

ようになりたいです」
職員 「これからも仕事がんばりましょう」

もつと上手になりたい、就職したい、その気持ちを実現できるうかがやき一同本年も頑張つていきます！
(寺内)



楽しく明るいホームにしたい グリーングラス

ケアホーム下笹目から始まったホームも、昨年4月からグループホームに一本化されグリーングラスとなりました。開所して、それぞれ下笹目が4年、上戸田が3年、第2上戸田1年の月日が経とうとしていきます。毎日の繰り返しの中、入居者も自分の住まいとして、その生活を自分らしく過ごしている人もいれば、他の利用者に気をつかいながら、自分を出せずにい



3つのホーム全体で、交流会を行なった時の集合写真。

る人もいます。
キャッチフレーズの「ほっとできる家」に近づくためには、まだまだ環境や支援の充実が不可欠ですが、地域の人たちが入居者の存在をありのまま受け止めてくれる、日々暖かい声をかけてくれることが、何よりありがたいことです。
入居者ミーティングで、「新しい年は楽しく明るいホームにしたい」という希望がありました。具体的には「遠くに行きたい」「ホームでも日帰り旅行に行きたい」「有給をとってホームのみんなと遊園地やデイズニールランドに行きたい」「温泉でゆっくりしたい」などの意見が出ました。週末にはそれぞれヘルパーと出かけることもあるのですが、一緒に生活しているこのメンバーとも出かけてみたい、たまには少し気分を変

こんな一年にしたい！ ～利用者のおもい、職員のおもい～ 障害者生活支援センターわかば

えてみたいと思うのかもしれない。どちらにしても一層生活を楽しくしようとする発言や姿勢が見られるようになりました。
平成27年も昨年よりもっともと笑顔のあふれるホームをみんなで作っていききたいと思います。
(刈部)

昨年から開催している『親の5年後 子どもの5年後 一緒に考えよう！』の勉強会も次回で5回目を迎えます。地域の中でより豊かな生活を安心して続けて行くために「いま出来ることは何だろうか？」「親御さんやご本人が悩んだり困っていることを気軽に話し合える場があると良いな」「一緒に学び、一緒に考えて行けると良いな」との思いで開催しています。
昨年は座学だけでなく埼玉県内のグループホームを見学し、親御さん、ご本人、支援者等、様々な方が参加いただきました。初めてでも気軽に参加出来、地域の様々な方が集える「場」として、これからも定期的に続けて行きたいと思っています。そして今年は、週末や夕

方の時間をちよつぱり豊かにするための趣味やグループ活動のプログラムも企画して行く予定です。お楽しみに。
(高野)

**利用者の満足度向上のために
「仕事時間のセルフチェックに
取り組みます」
障害者就労支援センター**

今年から各職員が支援にかける時間配分をセルフチェックする仕組みを新たに取り入れます。簡単にいうと仕事時間の管理です。各職員が一日の勤務時間を何にどう使ったかセルフチェックするのが目的です。

具体的にいうと、面談・連絡調整・ケース記録などの事務作業、および、職場訪問・企業開拓・実習同行などの外出作業、各職員がどんな業務にどの程度の時間を費やしたかを日々記録していきます。各職員は業務経験や役割の違いから、また、担当している利用者の状況によりそれぞれ支援の仕方が少しずつ異なります。A職員は面談にとっても時間をかけるとか、B職員は職場訪問にとっても時間をかけるとか、支援スタイルの違いが

見えてきます。

限られた時間を効率的に使い、支援内容を更に充実させるためにはどうしたら良いのか、セルフチェックによりその答えを探して行きます。そして、これらの取り組みは、必ずや利用者の満足度向上につながっていくものと考えています。

(長谷川)

精神障害のある方と一緒に 交流の場を検討中 障害者就業・生活支援センターみなみ

平成26年11月26日付で厚生労働省から発表された『平成二十六年障害者雇用状況の集計結果』によると民間企業に雇用されている障害者の数は前年より5.4%増加し、十一年連続で過去最高となりました。その中でも特に精神障害者は24.7%増と、その伸び率が大きくなっています。

「みなみ」では、これまでも障害者を問わず当事者同士の交流の場作りのため、サロンや交流スペース等の取り組みを行ってきました。その活動の中で、精神障害のある方々から同じ障害者同士の交流を求める声が上がってきました。「みなみ」の新たな取り組みとして、精神障害の方々の交流の場の実現に向けて当事者の方と一緒に検討を重ねています。
(鈴木)



良暇余暇（よかよか）サロン忘年会の様子。
30名以上の方があつまり1年の反省と新年の目標を発表し合いました。



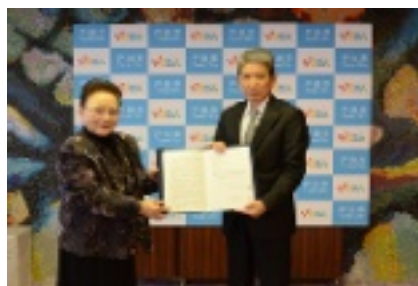
**災害時の要配慮者等の
受入に関する協定
書に調印しました。**

わかくさは、戸田市からの要請を受け、災害時に要配慮者を受け入れる避難施設としての指定を受け、去る11月10日、市役所にて協定書に調印しました。

これにより、災害時、一般の避難所では生活に支障をきたすと市が判断した障害者等を受け入れることになりました。

調印式で、戸田わかくさ会の横山理事長は「役割を果たすために一生懸命努力します」と語っています。

わかくさは、停電や断水に備えて自家発電や井戸を設置、保有しており、また、横山理事長の言葉のとおり、どんな時でも障害者等の要配慮者が、安心して避難生活できる施設を目指し努力していきます。



戸田市役所内で市長と協定書を交わしました。



-ma.jp /)
(<http://www.no>

詳しくはホームページをご覧ください。

水村さん出展!!
「水村さん出展!!」
ゆうゆうの水村英喜さんの作品が滋賀県近江八幡市で2月21日～3月22日の期間に行われる、『アートブリュット★アート★日本2』に出展することが決まりました。

【わかくさ】
川村幸子さん・川本諭史さん
坂本すみえさん・渡辺洋三さん
・ルカス竹志さん
【ゆうゆう】
斉藤勇真さん・水村英喜さん
・荻野豊さん・山田真さん

みなさんおめでとーございます。

より九名の方が入選し作品の出展をしました。

わかくさ会のアート

「埼玉県障害者アートフェスティバル」に出展しました

12月12日～16日まで、

埼玉会館でおこなわれ

した障害者アートフェ

スティバルに、わかくさ

お知らせ

公開研修会開催のご案内

左記の内容で、公開研修を行います。当事者・ご家族の体験発表を通じて、福祉サービスや地域との交流から当事者の生活の広がりを考えます。

皆さまお気軽にご参加下さい。

◆テーマ

『地域で支え合う』

『地域で創る障害者福祉』

◆日時…平成27年1月17日

10:00～12:00

◆会場…戸田市商工会館

多目的ホール

◆定員…150名

◆内容…一部 体験発表

二部 講演

「地域で創る障害者福祉」

講師 藤川 雄一氏

(埼玉県相談支援専門員協会代表)

障害児者実践交流会のお知らせ

市内の障害児者関係の事業所が協力して、2月21日(土)に「障害児者実践交流会」を実施します。

詳細は調整中ですが、基調講演や実践報告を予定しています。興味のある方は、1月15日以降にお問合せください。

◆問合せ先

わかくさ

☎048・229・7421

『親の5年後、子どもの5年後、一緒に考えよう!』
記念講演会DVD鑑賞会

◆障害者のしあわせとは?

戸田わかくさ会10周年記念公演

会にて、愛知淑徳大学の谷口明広

教授をお招きしてお話し頂きました。

ご自身が重度の障害を持ちながら、海外留学し、事業を立ち上げ、結婚し、家庭を築いていった

という谷口先生が、豊かな暮らし

幸せとは、今、家族や支援者が行うべきことは何かを楽しくお話下さいました。

関係者必聴の講演会です。

◆日時…平成27年1月31日(土)

13:30～15:30

◆会場…わかくさ

◆申込み・問合せ…

障害者生活支援センターわかくさ

☎048・446・6785



(法人の運営する事業所)

わかくさ、福祉作業所ゆうゆう、福祉作業所かがやき、グリーングラス、障害者生活支援センターわかくさ、障害者就労支援センター、障害者就業・生活支援センターみなみ

(ホームページはこちら)

<http://www.wakakusa-kai.com/>

【発行】

社会福祉法人戸田わかくさ会

〒335-0021 戸田市新曽1522-1

TEL 048-432-8198 FAX 048-432-8298

編集後記

皆さまどんな新年を迎えられましたか。わかくさ会は今年も利用者と共に歩み、地域の皆さんに益々愛される施設を目指して行きたいと思います。愛らしい羊のように? (稲)

☆法人の主な予定☆

1月17日(土) 公開研修会

2月 6日(金) 交流会

2月21日(土) 実践交流会